

公民館においでよ!

く代々受け継がれてきた
大謝名獅子舞を守り伝えるく



▲自治会の取組を紹介するパンフレットが完成しました!



全世代が愛する地域の宝へ

(後列左より)前田通さん、天久盛忠自治会長、眞志喜徹也さん、眞志喜初枝書記



前田通さん、眞志喜徹也さん
(大謝名獅子舞保存会)



毎年200人余りが参加する豊年祭
(今年は9月24日(十五夜)に開催)

大謝名区自治会

☎897-2900

自治会(公民館)の紹介

子ども会、青年会、婦人会、老人クラブのほかにも、サークル団体が公民館を利用して活動をしています。

特に子ども会は夏休み行事が盛んで、学事奨励会・ラジオ体操・夏休み学習会(絵画、工作、書道、プール、施設見学)、旧盆(ナカビ)道ジュネーエイサーなど、子ども達がエンジョイできる取り組みを進めています。

大切にしていること

大謝名区は拝所どころで、市外からの参拝者も多く、旧8月15日十五夜・豊年祭では、区の繁栄を祈願して市指定無形民俗文化財の大謝名獅子舞を披露しています。

大謝名獅子舞は200年前から続く地域の宝で、今後も三世代から愛されるよう取り組みを続けていきます。

県道34号線の沿道には「カンナ」の花を植え、花やかな地域づくりを進めています。

公民館の貸し出しも行っていきますので、ぜひご利用ください。

■各自治会の年間行事を市ホームページに掲載しています。

■次回は、嘉数区自治会です。

小学生の頃子ども会に所属し、豊年祭では獅子舞の前座で棒術を披露していました。
県外大学への進学等で一時的に地元を離れていましたが、就職を機に地元に戻り、保存会の方からのお声かけでまたやらせて頂いています。
獅子舞を披露するようになって10年になりますが、一つ一つの動作、迫力・躍動感を出すための工夫など、まだまだ改善す

べき点があり、その奥深さを感じています。
6年前に幼なじみである眞志喜さんに声をかけられたことがキッカケで始め、今も続けさせてもらっています。
獅子舞は地域によって動きが全然違い、大謝名独特の動きもあります。獅子舞を生き物のようにいかに自然に振る舞うかが今の大きな目標です。
二人で獅子舞をやらせて頂くようになって今年で7年目にな



本番に向けて練習に励む前田さんと眞志喜さん(獅子舞は総重量20kgを超える)

■獅子舞の魅力、伝統を感じています(眞志喜さん)
■獅子舞を初めて見た時、衝撃を受けました(前田さん)
社会人になるまで自治会との関わりは浅かったのですが、地域の伝統行事にはずっと興味を持っていました。
獅子舞を披露する豊年祭を毎年地域の先輩方、子ども達が楽しみにしてくれていることは、私達の喜びでもあります。
当日は、火の玉に向かって獅子舞が飛びかかるシーンが見所です。まだご覧になったことがない方は、ぜひ豊年祭にお越しください。

りますが、今でも新たな発見があり、やりがいを感じています。
獅子舞を披露する豊年祭を毎年地域の先輩方、子ども達が楽しみにしてくれていることは、私達の喜びでもあります。
当日は、火の玉に向かって獅子舞が飛びかかるシーンが見所です。まだご覧になったことがない方は、ぜひ豊年祭にお越しください。